

第3回プロジェクト会議  
神代植物公園見学

倉本先生のご紹介により、神代植物公園の見学ができました。当日は現地集合で、園を管理している東京都公園協会の職員の方からばら苑の管理や魅力などの説明を受けました。東京都公園協会の方々に感謝です。

(1) 見学の日程

日時：2020（令和2）年3月17日（火）14：00～16：00  
場所：東京都神代植物公園  
参加者：11名  
内容：しっかり、神代植物公園を見学しました。



(2) 神代植物公園のバラ園見学



東京都公園協会の職員が、丁寧に説明してくださいました。参加者も興味深くバラ園をみながら職員の方に質問を投げかけながらおだやかな見学となりました。以下職員の説明の一部をまとめたものです。

- 管理は、東京都から特命で（公財）東京都公園協会が指定管理を受けている。
- 昭和37年開園。3つのばら苑。野生種オールドローズ園。ジャパンローズコンテストの入賞花園など。
- 1. 2ha。407種。サンクガーデン。外側にオールドローズを置いて花数を見せ内側にハイブリッドローズで豪華に演出。
- 維持管理は委託業者。公園協会は発注・監督業務。バラ園のボランティアはいない。ボランティアは園内ガイドボランティア、森づくりボランティア、ドッグランのボランティア。
- 古い品種の維持がコンセプト。
- 消毒は年25回程度。休園日に行うので特に周囲に告知していない。  
開花時期は毎週散布することもある。
- 他園との情報交換は京成バラ園主催のバラ園サミットに参加。
- ばらの展示方法としては、上から見るものとしたから見るものがある。最近はベッド仕立ては減っている。
- ベンチは多く配置しているが、バラが咲いている時期は、座る場所がないと怒られる（高齢者が多い）。
- バラが咲いている時期は、多いときで1日1万5千人程度来園。
- 鑑賞の注意事項は、シートを敷くのはやめてもらっている。三脚を立てるのもやめてもらっている。
- 屋根付きテラスを利用してコンサート。屋根の中には観客。演奏者はバラ園を背景に。



以上簡単ではありますが、見学記とさせていただきます。この見学をもとに次の会議はさまざまな意見ができることを期待しています。

次回の日程 5月15日（金） 東口ビジターセンター+Zoom  
主な内容⇒勉強会。

ばら苑に関係する整備について、ばら苑の現状などなど。

